



世界と結ぶ
笑顔のかけはし

(3月5日、ワン・ワールドフェスタ
―関連記事20ページ―)



主な内容

五枚橋村長が所信表明演述……………	2～5	胃がん検診を受けましょう……………	9
平成28年度当初予算……………	6～7	オドデ塾ふれあい演芸まつり……………	10
大崎廉成さんが全国ジュニアマイスター……	8	ワン・ワールドフェスタin九戸……………	20

協働の村



所信表明を述べる五枚橋久夫村長

1 村づくりの基盤を支える 魅力ある産業の創出

◆農業振興

●農地中間管理事業を推進し、農地利用の効率化を図る



水田の単収向上を目指し所得確保に努めます

●農業を担う人材育成と確保を図り、担い手を支援する

●基盤整備の推進と農家負担の軽減を図る

●経営所得安定対策制度を活用しながら需要に応じた米づくりを推進する
●農業者の所得確保のため、水田の単

第1回村議会定例会は2月29日から3月11日までの12日間、役場本会議場で開かれました。議会で五枚橋久夫村長は「対話しながら皆さまの協働参画を促し、さまざまな課題に対して村民の皆さまと共に進めていきたい」と所信を述べ、村づくり全般にわたる基本的な考えと主な施策を明らかにしました。ここでは、村長の所信表明演述の主な施策を紹介します。(2～5ページ)

農業を志す担い手を支援します

収向上を目指した管理指導に努める

●主力品目である「トマト・ピーマン・人参・ねぎ」を中心とした野菜などの園芸を振興する

●優良産地化と魅力ある安定した農業経営を確立するための取り組みを強化する

●リンドウの新植支援を推進しながら花卉振興を図る

●省力化機械の導入や後継者の育成を支援し、葉たばこの振興を図る

●鳥獣被害に迅速に対応できる体制づくりを図る

●村営戸田牧野は、飼養管理の徹底を図り適切な運営に努める

◆林業振興

●森林所有者の管理に係る負担軽減を図り、木炭生産者と森林の環境保全を支援する

●村単独事業の林業基盤整備事業を有効活用し、林道利用者の利便性を図り、林道の適切な管理に努める

◆商工業の振興

●高校生の通学バス助成事業や個人向けの給付金などには、九戸村共通商品券を活用する

●商店街のにぎわいづくりのため、商工会の活動を継続支援する



みんなでつくる

2 楽しく子育て



医療費助成は引き続き高校生まで拡大

2 楽しく子どもを育て 安心して暮らせる村

- ◆子育て支援
 - 乳幼児健診と5歳児健診を行い、幼児と保護者を支援する
 - 健診補助や出産に係る経費負担の軽減を図り、さわやかハッピーファミリー祝いの金の交付や医療費助成事業を実施する
 - 村独自の大幅な保育料軽減

- ◆企業誘致
 - 立地条件の優位性と立地企業への支援制度をPRしながら、引き続き企業誘致へ向け努力する

◆観光振興

- 道の駅「おりつめ」オドデ館を核に、受け入れ態勢の整備や情報発信の充実強化を図る
- 自然環境を生かした観光イベントを誘致し、誘客活動を進める
- 「政実・くのへFM」を継続実施し、観光振興と地域振興につなげ、村の魅力を広くPRする



政実・くのへFMを継続し、村の魅力を配信

- 減を継続し、子育て家庭に対して多様な支援をする
- 高校生まで拡大している医療費助成を継続する

◆保健医療の充実

- 小児予防接種を全額補助で、対象者全員が接種できるように進める
- 5年計画の高齢者肺炎球菌ワクチン接種は、全高齢者が接種できるように、半額程度の補助を進める
- 各種がん検診の受診率向上を目指し、住民が受診しやすい体制を整える
- 骨粗しょう症予防検診を実施し、高齢者の骨折予防に努める
- 医師による悩み相談、保健師の出前相談、おしゃべりサロン「ひだまり」などの予防活動を継続する
- ジェネリック医薬品の利用を勧め、受診率の向上に努めて健康で明るく元気な村づくりを目指す

◆障がい者福祉の充実

- 地域活動支援センター「エール」の活動支援、自立

- 支援給付費や高齢者・障がい者に優しい住まいづくり事業などで、引き続き障がい者の生活を支援する

◆高齢者福祉の充実

- 好評の介護予防教室をはじめ、水中ウォーキング事業、生きがいデイサービス事業などを実施する
- 高齢者などの低所得者世帯を対象に、冬期間における経済的負担軽減を図るための生活支援と、福祉の増進活動を継続する

◆地域福祉の充実

- 利用者のニーズが高い、いきいきふれあい集会、子育てサロン、配食サービス、移送サービスを継続する



介護予防教室を継続し
高齢者福祉の充実を図ります

③ 心豊かな村民を育む 教育・文化の充実

◆学校教育の充実

- P D C A サイクル（計画 ↓ 実行 ↓ 評価 ↓ 改善を順番に実施する）の学校経営を一層推進するよう支援する
- 学校運営は子どもたちの望ましい教育環境の在り方について考え、中・長期的な見通しを持ち、慎重・迅速に検討する
- 授業と連動する家庭学習の質的向上に取り組む
- 音楽、体育、外国語で実施しているナインズ学習は、拡大・充実させる方向で検討する



ナインズ学習は拡大・充実させるよう検討

- 特別支援学級の設置や特別支援員の増員、言語障害児学級通級者への通学支援を充実させ、適切な教育が受けられるよう取り組む

◆社会教育と生涯学習の充実

- メディアとの上手な付き合いの方の実践を積み重ねると同時に、各実践区の歴史と特色ある活動を支援する
- 土曜学習の場である九曜塾では、郷土に誇りと愛着を持つ子どもたちの育成に取り組む



郷土に誇りと愛着を持つ子どもの育成に取り組む

③ 教育文化

④ 環境保全

◆文化芸術の振興

- 営々と引き継がれてきた文化性・芸術性の価値を村民で共有し、その保存と継承活動を支援する

◆教育環境設備の充実

- 無線LAN整備、実物投影機、タブレット端末などを計画的に環境整備し、ICT（情報通信技術を活用した）教育の充実を目指す

◆伊保内高等学校の存続

- 村地域子ども読書会など、地域と一体となった魅力ある高校づくりを支援する
- 平成29年度入学生から1学級案が示されたが、小規模校の教育の質を確保するように県教育委員会へ強く要望していく

◆国際交流事業

- 平成27年度から新たな訪問地として、アイルランドへ中学生を派遣し交流を深めた。平成28年度も国際理解の啓発と、多文化共生社会の実現に向け取り組む

◆希望郷いわて国体とスポーツ振興

- 10月2日、ナインズ球場で希望郷いわて国体・軟式野球競技会が開催される
- ナインズ球場を含めた駐車場やトイレの水洗化など、施設・設備の修繕・改善に努めており、国体開催に向け万全を期す
- スローガン「村民一人一つのスポーツを」もとに、健康・体力づくりを奨励するとともに、スポーツ活動や各種大会を支援する

ナインズ球場を含めた施設・設備の修繕に努め、国体開催へ万全を期します



④ 美しい自然をいつまでも 誇れる環境の保全

◆ごみの減量化

- 「リデュース・リユース・リサイクル」の3R運動に取り組む
- 古着の回収ボックスを設置し、ごみの減量化に努める
- 生ごみ電動処理機とコンポストへの助成制度を継続し、さらなるごみの減量化に努める

◆施設の適正な維持管理

- 整備したコロボックスランドや農村公園、水芭蕉公園などについて、これからも適正な維持管理に努める

古着の回収ボックスを設置し、ごみの減量化に努めます



⑤ ゆとりを持って生活できる 快適で安全な村

- ◆人・生活・経済を結ぶネットワーク交通網の整備
- 3路線の村道改良舗装工事と、2カ所の法面工事を実施する
- 橋梁の修繕工事を継続実施し、住民と協働しながら村道の維持管理に努める



若者定住促進住宅を4棟整備予定

- ◆住宅整備の推進
- 平成28年度は4棟の若者定住促進住宅を整備する

- ◆上下水道
- 衛生的で快適な生活環境の普及促進に努める
- 水道施設の耐用年数を把握し、将来にわたって衛生

的な水を安定的に供給できるように努める

- 上水道の整備が難しい地域での飲料水確保対策のために、平成28年度から補助金限度額の引き上げを行う
- 補助金交付対象に井戸用ポンプ更新工事を追加し、水道未普及地域の飲料水確保に努める

- ◆交通安全対策
- 交通死亡事故防止や、飲酒運転根絶に向けた取り組みを強化する

- ◆防犯対策
- 本年2月には暴力団排除のため、二戸警察署と協定を締結した
- 今後も安心・安全な村づくりに一層努力する

- ◆消防防災
- 機能別団員制度を導入し37名を任命した
- 3カ年計画の防災行政無線デジタル化は2年目の工

事となる

- 小型動力ポンプ2台の更新、簡易無線の導入を計画し、消防施設・機械器具の整備、充実を進める

◆情報化の推進

- 光回線を有効活用し、ビジネスチャンス創出の環境整備に努め、地域活性化を目指す

◆消費者対策の充実

- 村広報やホームページなどで具体的な情報提供を行う

- 村民皆さまが安心・安全に暮せる地域社会づくりを目指して、消費者行政に取り組んでいく



機能別団員制度を導入し、37名を任命

⑥ みんなでつくる 協働の村



補助事業を活用しながら地域活性化に努めます



◆協働の村づくりを推進

- 地域社会における課題を解決する、協働の仕組みづくりを支援する

- 地域コミュニティ活動の充実と、地域活性化への取り組みを支援する

◆男女共同参画社会の形成

- 男女が社会の対等な構成員として、お互いにその人権を尊重し、個性と能力を發揮できる意識づくりや環境づくりに取り組む

◆行財政改革の推進

- 厳しい財政状況の中で、住民サービスを維持発展させていくため、継続して取り組む

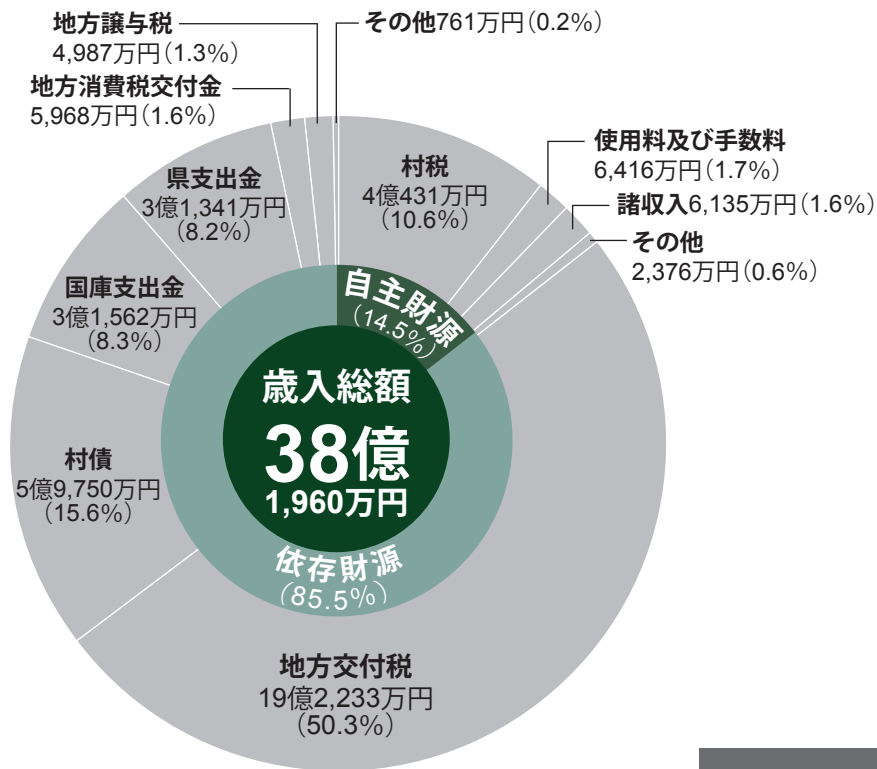
地域活性化に向けたコミュニティ活動を支援します



28年度当初予算

38億1,960万円

前年度比1.3%減

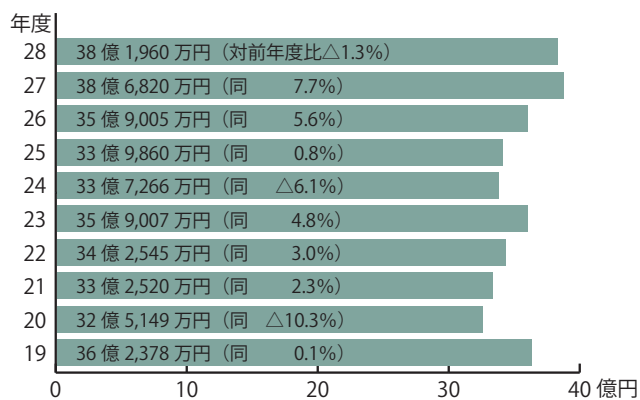


用語解説・歳入

- 【地方交付税】** 財政力に応じて国から配分されるお金。
- 【村債】** 村が国などから借りるお金。
- 【自主財源】** 村が自主的に収入することができる財源。
- 【依存財源】** 国や県から定められた額を交付される財源。

一般会計予算の推移

※平成20年、24年、28年度は骨格予算



村民一人当たりの…

- 予算額 623,201円 (前年度621,098円)
- 村税 65,967円 (同 64,591円)
- 借金(村債)残高 721,641円 (同 683,775円)

※数値は一般会計。人口は6,129人(平成28年2月末現在住民基本台帳人口)、村債は28年度末残高見込みで計算。

一般会計

前年比1.3%減

平成28年度の一般会計当初予算は、昨年度当初予算を4860万円(1.3%)下回る、38億1960万円となりました。

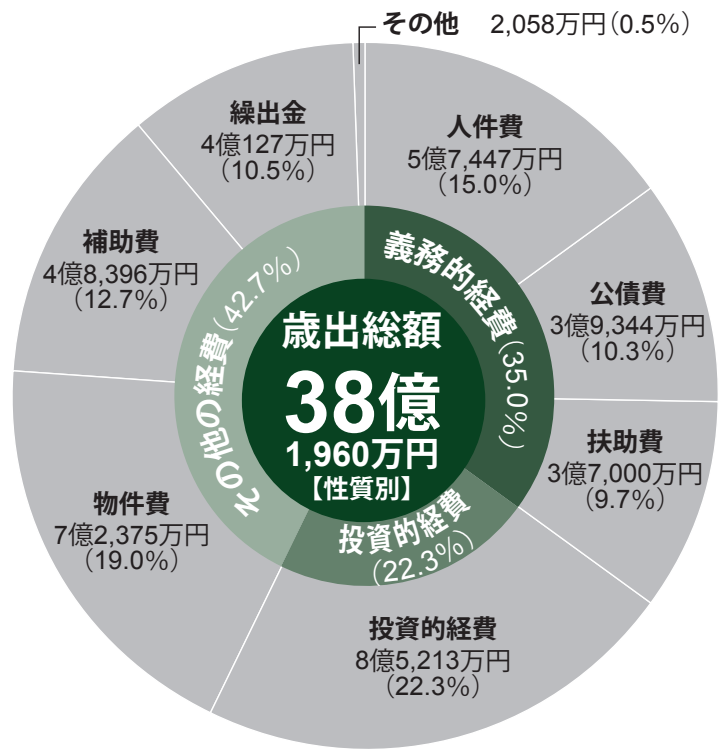
また、一般会計に特別会計や水道事業会計を加えた総予算は50億8068万円、昨年度より6741万円、1.3%少なくなっています。

歳入

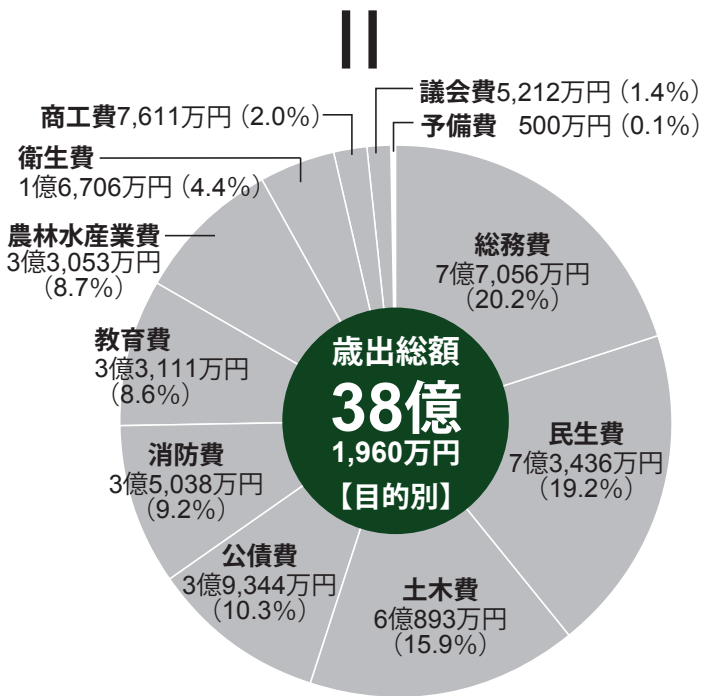
交付税が全体の50%

一般会計予算の歳入を見ると、地方交付税が19億2233万円で全体の50.3%(昨年度比0.1ポイント)を占めてトップ。次いで村債、国税、国庫支出金と続きます。自主財源は、昨年度を444万円(0.8%)上回る5億5358万円となりました。村税は204万円(0.5%)増となっています。依存財源は前年度より5304万円減少しました。

主な投資的事業	
九戸村工業団地流末処理事業	2,597万円
ごみ焼却施設修繕事業	1,319万円
合併処理浄化槽整備事業補助金交付事業	1,026万円
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	1,824万円
経営体育成支援事業	834万円
東日本大震災農業生産対策事業	7,582万円
農道維持管理事業	659万円
基幹水利施設ストックマネジメント事業	1,313万円
多面的機能直接支払交付金事業	3,343万円
甘茶製造機械更新事業	2,894万円
道路維持補修事業	4,381万円
除雪機械購入事業	2,112万円
村道新設改良事業	2億8,308万円
橋梁長寿命化修繕事業	3,000万円
定住促進住宅建設事業	7,115万円
防災無線デジタル化事業	1億1,850万円
消防団無線更新事業	587万円
水道施設改良事業	2,753万円



水道事業会計予算の内訳	
◆収益的収入・支出（1年間の損益取引）	
・収入…1億4,002万円	・支出…1億4,002万円
◆資本的収入・支出（投下資本の増減に関する取引）	
・収入…1,488万円	・支出…8,121万円
※収入不足の6,633万円は過年度分損益勘定留保資金等で補てんされます。	



用語解説・歳出

【公債費】 村債（借金）の返済に充てるお金。
 【扶助費】 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、などの法令に基づいて支出する経費。
 【物件費】 委託料、賃金、旅費、役務費など。
 【義務的経費】 人件費や扶助費などのように、村の機能を維持していくために必ず支払わなければならない経費。
 【投資的経費】 道路の建設などのように、施設が将来に残るものに対する経費。

歳出

総務費が20%でトップ

歳出を性質別に見ると、人件費や公債費、扶助費を合わせた義務的経費が0.6%増の13億3791万円。これにその他の経費を加えた一般行政経費は29億4689万円となり、前年度より1.2%減少しました。投資的経費は前年度より3341万円（3.8%）少ない、8億5213万円となりました。

目的別では、総務費（住民サービスや一般事務経費）が7億7056万円となり、全体の20.2%でトップ。次いで、民生費（福祉対策や保育園などの経費）と続きます。

増加率が最も高かったのは商工費（3387万円）80.2%の増となり、続いて土木費（3053万円）5.3%の増となりました。

一方、減額率が最も高かったのは総務費で、前年度を9180万円（10.6%）下回りました。

受けましよう胃がん検診

■検診料：1800円

※住民税非課税世帯と70歳以上（平成28年4月1日現在）の人は無料です。

■対象者：40歳以上

（平成28年4月1日現在）

※勤務先で同検診がある場合は、勤務先で受診しましょう。

○胃がん検診を受診できない人

●妊娠および現在妊娠している可能性がある

●胃・十二指腸の切除手術をした人など

■受診時の注意

○検診前日の食事は、午後9時ごろまでに済ませてください。お酒は飲まないでください。

○検診当日は検診終了まで絶食です。たばこは吸わないでください。（検査2時間前まではコップ1杯200ml程度の水は飲んでよいです）

《検診日程》 受付：午前6時～午前8時

月日	会場	対象地区
4月11日(月)	宇堂口地区農村婦人の家	瀬月内、宇堂口、泥の木
	長興寺多目的集会施設銀杏会館	長興寺下、大向
4月12日(火)	村老人福祉センター	平内、妻の神、戸田上・下、戸田館の下、山根
4月13日(水)	江刺家ふるさとセンター	江刺家上・下、道地
	村保健センター	荒谷、二ツ家、鹿島
4月14日(木)	村保健センター	川向、南田、小倉
4月15日(金)	長興寺多目的集会施設銀杏会館	長興寺上、五枚橋、荒田、雪屋
	江刺家ふるさとセンター	田代、柿の木、丸木橋、山屋、細屋
4月17日(日)	村保健センター	伊保内上・下、休日希望者

※検診の混雑を防ぐため、地区毎に検診日を指定しています。指定日に都合がつかない場合は、上記のいずれかの日程に受診してください。

■問い合わせ

住民生活課保健衛生班 (☎ 42-2111 内線 122)

平成28年度

村職員の人事異動

村職員の人事異動が4月1日付で発令されました。(カッコ内は異動前の職名)

【課長級】

▽会計管理者兼税務会計課長 (住民生活課長補佐兼保健衛生班長) **高倉孝一** ▽住民生活課長兼総合福祉センター所長(教育次長) **吉川清一郎** ▽農林建設課長兼水環境班長(農林建設課長) **岩崎一弘** ▽教育次長(会計管理者兼税務会計課長兼税務徴収班長) **野辺地実**

▽総務企画課長補佐兼庶務財政班長(総務企画課主任) **松浦拓志** ▽税務会計課長補佐兼税務徴収班長(教育次長補佐兼教育総務班長) **玉川光彦** ▽住民生活課長補佐兼国保住民班長(農林建設課長補佐兼水環境班長) **上村浩之** ▽住民生活課長補佐兼保健衛生班長(住民生活課主任) **野辺地利之** ▽教育次長補佐兼教育

総務班長(総務企画課長補佐兼庶務財政班長) **川原憲彦**
▽伊保内保育園主任保育士(ひめぼた) **園主任保育士**

上山恵子

【主任級】

▽総務企画課主任(農林建設課主任) **觸澤英之** ▽住民生活課主任(農林建設課主任) **柳柳善行** ▽住民生活課主任(住民生活課主任) **和田沙耶香** ▽農林建設課主任(農林建設課主任) **関端祐介** ▽農林建設課主任(農林建設課主任) **中村智子** ▽農林建設課主任

(農林建設課主任) **下高山朋徳**
▽ひめぼた **園主任保育士** (伊保内保育園保育士) **小笠原直子**

【主事級】

▽税務会計課主事(住民生活課主事補) **上宿智史** ▽税務会計課主事(税務会計課主事補) **山本拓洋** ▽住民生活課主事(税務会計課主事) **碓氷あかね** ▽住民生活課主事(住民生活課主事補) **南公太** ▽農林建設課主事(税務会計課主事) **佐藤康輔** ▽農林建設課主事(住民生活課主事) **野辺地龍一**

【新採用】

▽住民生活課主事補 **田澤直樹** ▽農林建設課主事補 **細川猛** ▽伊保内保育園保育士 **櫻場祐子**

【再任用】

▽総務企画課 **古館英一** ▽農林建設課 **小野寺正** ▽教育委員会 **上村勝己** ▽戸田保育園 **欠端哲代**
【退職者】(3月31日付)
▽古館英一(住民生活課長兼総合福祉センター所長) ▽下川原裕子(住民生活課長補佐兼国保住民班長)

m u r a n o w a d a i むらのわだい

皆さんからいろいろな情報をお待ちしています。
お気軽に広報担当☎42-2111（内線168）へお寄せください。

オドデ塾ふれあい演芸まつりに約260名 つなぐ深める地域愛

第22回オドデ塾ふれあい演芸まつりは3月6日、江刺家小学校体育館で開かれました。村内外から約260名が集まり、踊りや歌など17演目を楽しみました。今回新たに企画されたカラオケ大会には、村内はもとより久慈市や矢巾町などから九戸村を愛する13名が出演。地元小学生による可愛い演技や九戸中学校野球部による迫力ある南中ソーランなどが披露され、来場者を魅了していました。江刺家地区の青年たちが『世代間の懸け橋になろう』を合言葉に、地域活性化に取り組んできたこの企画は、世代間のつながりを深めるとともに地域愛をさらに強めるまつりとなりました。



躍動感あふれる南中ソーランを演舞



柔らかな旋律に乗せ、美しい歌声で会場を魅了した「チームK」



斧を片手に堂々と踊る、七戸和人君（左）と七戸駿輔君（中）と林竜太郎君（右）

くのへ朗読会に110名

自然といざなわれる本の世界

くのへ朗読会が2月26日、HOZホールで開かれました。園児から大人まで110名が訪れ、本の世界に引き込まれるひと時を楽しみました。この日は樹原ゆりさんと高橋和久さんが子ども向けに2話、大人向けに1話朗読しました。子ども向けの読み聞かせでは、小さな園児たちも朗読される本にじっと釘付けでした。声の強弱や表情豊かに読まれる本の世界に、参加者は自然と吸い込まれ、その場の情景がまるで目に浮かぶかのように聞き入っていました。



伊高の存続などについて活発な意見交換が行われました

県立高校再編計画案の説明会

伊高は29年から1学級減

新たな県立高等学校再編計画案の説明会が2月10日、村山村開発センターで行われました。村民65名が集まり、平成28年度から新たに策定される10年間の計画案について、県教育委員会から説明がありました。計画案によると、伊保内高等学校は平成29年度から1学級減り、普通科1学級になると説明。今後予想される、県内高校入学予定者数や同校生徒数から鑑みると、同校の学級減は避けられないとのこと。来場者からは「学級減を延期してほしい」など、多数の質問・要望が出されました。



樹原さんと高橋さん（左上）の情感溢れる読み聞かせを楽しむ来場者



ねぎ多額生産者の部で優秀賞に輝いた、山下輝雄さん（川向）

農業生産者の集いに 140 名 労苦ねぎらい豊作祈願

村農業生産者の集いが2月24日、HOZホールで開かれました。村内の農業生産者など140名が参加し、昨年の収穫を祝うとともに、今年の豊作を祈願しました。まず始めに昨年の農業生産において、優秀な成果を挙げた農業者39名に表彰状が贈られ、その功績がたたえられました。

その後、二戸農林振興センターの藤根貞光氏が中山間地域の活性化事業について制度内容を解説。県北家畜保健衛生所中央農業改良普及センターの職員7名が、口蹄疫の疑いのある牛が発見された場合の対応方法について、演劇で分かりやすく説明しました。午後には懇親会も行われ、農家の皆さんが互いの労苦をねぎらい、実り豊かな本年を祈願しました。



九戸中学校の野球部19名が初出演し、



カラオケ出場者、最年長の菖蒲澤福松さん（78歳）が、予選突破し決勝進出



海外派遣の研修成果を堂々と発表する、九戸中学校の派遣生5名

5名がアイルランド派遣の成果を報告 貴重体験を堂々と発表

2月23日、村青少年海外派遣事業報告会はHOZホールで行われ、九戸中学校の2年生（当時）5名が10月29日～11月9日まで、アイルランドで研修した成果を発表しました。個別課題研究の結果について、大崎光仁君が「日本とアイルランドの気候の違い」について報告。その後、派遣生5名が研修で得た成果をインタビュー形式で回答しました。生徒たちは、人とのつながりの大切さや、コミュニケーションの大切さを学んだことなどを挙げていました。たくましく大きく成長した派遣生たちは、「貴重体験を今後の生活に生かしていきたい」と、堂々と発表していました。

家族介護教室に 21 名 口を清潔に免疫高める

村家族介護教室は2月17日、村山村開発センターで行われました。村民21名が参加し講義や調理実習にて介護福祉への理解を深めました。始めに沢藤歯科医院の沢藤太院長が、健康であるための口腔ケアについて講演。「要介護者においては口の中をきれいにしていれば菌の数を減らし、病気になる可能性を低くすることが大切」と説明し、要介護者の口腔ケア方法について解説しました。続いて、管理栄養士の松本紀子氏も一緒になり、なますや豚肉焼肉風など4品の調理実習を開始。松本氏は「良くかんで食べることで老化を防ぐ」と話していました。



楽しみながら調理実習に挑戦する参加者

本村3名が自衛隊へ入隊



3名(右)が自衛隊への入隊を五枚橋村長へ報告

平成28年度から自衛隊に入隊が決定した3名が2月19日、役場村長室を訪れ、五枚橋久夫村長を表敬訪問しました。

本村からは白岩和紀さん(鹿島)、南裕太さん(柿の木)、平糠恭介さん(泥の木)の3名が自衛隊に入隊。五枚橋村長は「志を持って、国や地域のために、健康に留意して頑張ってほしい」と激励しました。

歩いて九戸の冬を満喫

介護予防を目指したパワーアップ教室が2月4日、村山友会の協力を得て行われました。この日は16人が参加し、村体育センターから瀬月内川沿いを歩き、森林公園の上までかんじきを使って歩きました。森林公園の上からは折爪岳や傾城峠などを見渡すことができ、澄み切った空気もおいしく、九戸の冬を堪能ながらウォーキングを楽しみました。



かんじきを履いて雪上ウォーキングを楽しむ参加者

いかにのおすしを約束

2月10日、HOZホールで交通安全・防犯教室が開かれました。4月に入学する村内年長園児39名が集まり、二戸警察署員の署員などから教わりました。

最初に、園児たちは道路の歩き方や信号機の見方、横断歩



ダンスでいかにのおすしを確認する園児たち

道の渡り方などを学習。

その後、知らない人に声を掛けられたら、ついて「いかない」、「のらない」、「おごえを出す」などの防犯標語「いかにのおすし」を学びました。さらに、近未来警察カシオペアと一緒にダンスを踊り、いかにのおすしを守ることを約束していました。

わが家の人気者

1歳のお誕生日おめでとう☆



《写真右》 かりな
触澤 佳莉愛ちゃん
4月7日生まれ/次女/戸田上
(父)英之さん(母)すみえさん

《写真左》 ゆいな
触澤 侑渚ちゃん
4月7日生まれ/三女/戸田上
(父)英之さん(母)すみえさん

「仲のいい姉妹。大きく育ちますように」
すみえさん・英之さんより

●5月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!! 希望する人は4月12日(火)までに、写真(データも可)を広報担当(☎42-2111 内線168)までお持ちください。

- ◆第26回村明るい選挙啓発習字コンクールが2月に行われました。村内小中学生から69点の応募があり、25点が入賞しました。(敬称略・学校名・学年は入賞時)
- ◆村選挙管理委員会委員長賞 鈴木和(伊保内小3年)
- ◆村明るい選挙推進協議会会長賞 小沼玖慧(山根小5年)
- ◆優秀賞 中澤悠空(戸田小4年) 櫻庭貫之(同5年) 大谷理紗(山根小6年) 本堂歩(九戸中3年)

明るい選挙啓発習字コンクール

◆村明るい選挙推進協議会会長賞

小沼玖慧さんの作品

一票

◆村選挙管理委員会委員長賞

鈴木和さんの作品

投票

友達の輪 ⑬

山谷 直樹さん

42歳・五枚橋



山谷直樹さん(左)と次男・徠斗君(4歳)

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介していくコーナーです。

(有)新成建設で代表取締役社長を務めている、山谷直樹さんを紹介します。

◆趣味・特技は？ 釣りに行くことが好きだね。3年ぐらい前からは年に10回ぐらい、青森県陸奥湾などへ真鯛を釣りに出掛けているよ。

◆休みの日は？ 冬はくのへスキー場で年に40回ぐらい、子どもと一緒にスキーを楽しんでいるよ。

◆一番の楽しみは？ 子どもがスキー大会で好成绩を収めたときがうれしいね。

◆将来の夢は？ 海外旅行をして、大規模なスキー場で滑ることが夢だね。

むらの文芸

第335回 くのへ俳句会

菅野 岑子

何事も受け止め暮らす去年今年
 冴え冴えと空の青さよ寒に入る
 友もえし事を喜び納句座
 句の話などしてふたり冬の夜

高島ふみ女

方言の賑やかなりし春炬燵
 岸の辺に渦巻く渕や猫柳
 夫の忌や一献に添えたら芽揚げ
 春隣り南部よしやれの張り上げて
 食卓の小皿に春をつまみけり

冬部 雪女

水音の浅く響けり猫柳
 披講句に名乗り明快春きざす
 軽妙な話術に酔いし春の寄席
 母のみに解る片言暖かし
 落のとう逞しく育つ孫五人

櫻庭 義也

幹雫滴る音や春の雨
 露の臺雄株雌株もあると云う
 猫柳ネズミも捕らす惚けたり
 食えるとして食う程でなし土筆ん坊
 設定は「弱」としてあり春炬燵

田村 哇畔

老いて尚夢と希望あり春炬燵
 猫柳膨らむ陽気続く日々
 露の臺採るには早しそつと撫で
 冬晴れに小雪ちらつく露天風呂

元気スマイル ⑬

大崎 多喜雄さん

昭和9年5月3日生・81歳(荒田)



栗谷川家に生まれ、24歳で結婚。大崎家へ婿に入り、百姓を生業に、子ども3人を育てた大崎多喜雄さんを紹介します。

◆元気の秘けつは？ 田んぼやたばこなどで稼いできて、体が丈夫なことが元気の秘けつだね。

◆一番の楽しみは？ 歌うことが好きで、発表会などがあれば踊りや歌を見るのも楽しみだよ。

◆一番の思い出は？ 機械が好きでバックホーなどを購入し、上手に使いこなしたことが幸せだったね。

山笑ふ医師が宣ふ異状なし

館村 青村

深深と白らむ寺領や雪の果
 うらうらと流るる川や猫柳
 春雨や古刹は寂と暮れ掛る
 万物の照り輝いて風光る
 天心に日はさんさんと村のどか

【二月席題詠より】

救急車ピタツと鳴り止む凍夜かな(義也)

持病の脛痛み柔らぎ春兆す

わだかまりいつしか薄れ春兆す (ふみ女)

恋猫の声びたつと止まり夜の深む

二歩三歩あるき初む児や春兆す (雪女)

日脚伸ぶ介護予防の歩の弾む

春雨に烟りし丘や円通寺 (青村)

一日をうつらうつらと春兆す



27年度の講座が修了

アカデミー
女性教室

2月29日、村生涯学習アカデミー・女性教室合同閉講式が行われました。式の中で行われた卒業パーティーでは「村民の歌」を全員で合唱。「今まで歌ったことがない」という人も多く見られました。会食とワークショップで、今年一年の講座を楽しく振り返りました。平成28年度も、より多くの皆さんの申し込みをお待ちしています。



学習のまとめをする受講生

九曜塾 村の自然を満喫



就志森の頂上で、かんじきを履いて記念撮影

平成27年度最後の九曜塾は2月27日、かんじきを履いて就志森を登山しました。参加した11人の塾生は、爽やかな青空の下、まだ雪深い山道を共に励まし合い、山頂を目指しました。登り切った達成感と一気に滑り降りる爽快感。九戸村の豊かな自然をたっぷり味わいました。平成28年度も九曜塾では自然や人、文化に触れる体験を実施します。

2016 希望郷いわて国体

村民一人一つのスポーツを

楽しみながら体の使い方を学ぶ

九戸村スポーツ教室は3月6日、国体開催を契機にスポーツの振興を図ることを目的に村体育センターで開かれました。

講師は、フィリピン柔道チームでソウルオリンピック強化コーチなどの経歴を持つアスレチックトレーナーの高橋一男氏。参加した小学生17人は、手と足を別々のリズムで動かしたり、大人を障害物に見立てて飛び跳ねたりするなど、遊びの中でさまざまな体の動き

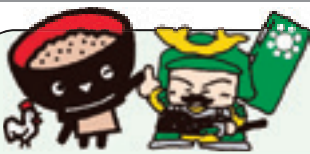


講師からテニスボールを使ったトレーニング方法を学ぶ参加者

をしながら、スポーツが上手になるコツを学びました。

応援に感謝。国体開催がんばれ

浅水光佳さん（日女体大2年／九戸中卒）＝2月21日、岩手国体冬季大会スキー競技に出場



村民総参加宣言

2016 希望郷 いわて国体

平成28年10月2日（日）
ナインズ球場で軟式野球競技を開催

スポーツって、楽しいよ。最高！

九戸村スポーツ教室参加者の皆さん＝3月6日、村体育センターで



国体では芸術・文化も発信します

「くへの朗読会」スタッフの皆さんは2月26日、朗読会後に樹原ゆりさん（左から5番目）と高橋和久さん（同6番目）を囲んで



4月 スタート

●国体九戸村ホームページ

<http://www.vill.kunohe.iwate.jp/kokutai/>

●国体運営ボランティアの募集

九戸村の大会運営を支えるボランティアスタッフの募集を開始します。詳しくは、チラシなどでお知らせします。お問い合わせは、村教育委員会事務局（☎42-2111 内線304）まで。



九 戸 中 学 校

感謝伝え合い43名巣立つ

九戸中学校では3月10日、春駒の会（生徒会主催）を行いました。在校生は今までお世話になった卒業生43名に感謝の気持ちを伝えようと意見を出し合い、準備してきました。当日は、在校生から卒業生一人一人に感謝の言葉と色紙が贈られました。卒業生からは、「今まで協力してくれてありがとう。皆さんがいてくれたので、ここまで成長できました。」



感謝の気持ちがつづられた色紙を手し、さらなる飛躍を誓う卒業生

これからは、一人一人自分が選んだ道を進みます」と、感謝の気持ちが伝えられました。卒業生は在校生の、「今ま

Books ◆ 今月のおすすめ図書

啼かない鳥は空に溺れる

唯川 恵 著／幻冬舎



これは私の人生。これは私の結婚。母に愛してほしかった娘。母の愛が重かった娘。「母と娘」それは、呪縛か依存か。結婚を機に向き合う2組の「母と娘」に幸福な旅立ちを、訪れるのか？

岬のマヨイガ

柏葉 幸子 著／講談社

岩手日報に掲載された柏葉幸子、デビュー40周年記念作品！



「日常」と「不思議」の境目を操る作者が挑んだ作品は、忘れることができない大津波の傷跡、そして、人と人の絆。

幸せに生きるひとりの法則

江原 啓之 著／幻冬舎



人は皆一人で生まれ、一人で死んでいきます。家族と縁の薄い人や生涯独身を貫く人だけではありません。今は家族の居る人も、いつかは一人に戻る日が来るのです。そんな不安を手放す方法があるのです。

りゆうがあります

ヨシタケ シンスケ 作／PHP研究所



鼻をほじったり、貧乏ゆすりをしたり、ご飯をボロボロこぼしたり、子どもたちがついやってしまう「クセ」。それにはちゃんとした「理由」があるんです。親子で一緒に読んで納得してください。

○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日／年末年始

伊 保 内 高 校

平成27年度伊保内高校進路概況

進路指導主事 菅原 靖やすし

伊保内高等学校では3月1日、卒業式が行われ、25名全員が進路を決め希望を胸に、輝く未来へ羽ばたきました。卒業生とご家族の

皆さまに、あらためてお祝いを申し上げます。卒業生の進路先は左の通りです。

- ◆民間就職
 - 管内 男子6名
 - 県内 男子1名
 - 県外 男子1名
 - 県内 男子1名
- ◆公務員
 - 管内 男子1名
 - 県内 男子1名
 - 県外 男子1名
- ◆私立大学
 - 管内 男子1名
 - 県内 男子1名
 - 県外 男子1名
- ◆医療系専門学校
 - 県内 女子1名
 - 県外 女子1名
- ◆公立短期大学
 - 県外 女子3名
 - 県内 女子2名
 - 県外 男子1名
- ◆私立短期大学
 - 県内 女子1名
 - 県外 女子1名
- ◆文部科学省所轄外大学校
 - 県内 男子1名
 - 県内 男子1名
- ◆専修・各種学校
 - 県内 女子4名
 - 県内 男子2名
 - 県外 女子1名

在校生諸君に対しても、笑顔で卒業の日を迎えられるよう、さらなる精進を期待します。

意識してみよう 「腸」の働き

腸の働きは栄養素を食べ物から吸収し、いらなくなった物を使として排出することです。

腸の働きが悪くなると、大事な栄養素が吸収されなくなり便秘となり、老廃物が腸の中で腐敗し、毒素が体の中に吸収されたりします。

腸内の環境は腸内細菌の善玉菌と悪玉菌とのバランスで決まります。

善玉菌を増やすには次の食品に効果が期待できます。

- 発酵食品であるヨーグルト、チーズ、酢、みそ、醤油、キムチ、納豆などを食べる
- 肉に偏らず、食物繊維を多く取る。(お勧めは切干大根、菜っ葉、納豆、海藻、きのこ、果物)

腸が元気であれば、不快な便秘が治り免疫力が上がります。風邪やウイルスを寄せ付けにくくなります。また、腸は第2の脳といわれ、ストレスのダメージを受けやすい器官です。ですから、散歩、運動、休養、趣味などでストレスを解消

することも、腸内環境をよくすることが出来ます。

腸内環境
チェック



- 食事はおなかいっぱい食べる
- 和食は1日1回以下
- 魚より肉が多い
- コンビニ・外食が多い
- 野菜を食べないときがある
- スイーツは毎日欠かせない
- 食事は20分以内で済む
- 最近おなか回りが気になる
- 定期的な運動をしていない
- 揚げ物や油ものが好き
- 朝ご飯を食べない
- 発酵食品をあまり食べない

3つ以上チェックが付いたら、腸内の環境が悪化しているかもしれません。腸内の環境をよくする食品を積極的に取りましょう。

(栄養士 高見館 ハスミ)

知っていますか？ 医療費助成制度

村では、医療費助成を左表の通り行っています。

◆ 受給者証の交付がある人

区分	対象者
乳幼児	就学前の乳幼児
妊産婦	妊娠5月の初日から出産の翌月末までの人
重度心身障害者(児)	① 身体障害者手帳1級、2級の人 ② 特別児童扶養手当1級の人 ③ 障害者基礎年金1級の人 ④ 療育手帳Aの人
一人親家庭	① 配偶者のない人で、18歳未満の児童を扶養する人 およびその扶養を受ける18歳未満の児童 ② 父母のいない18歳未満の児童 ※18歳未満児童とは、18歳に達する年度の3月末日までの人
老人(村単)	68、69、73、74歳の人のうち窓口負担が2割で後期高齢者医療保険制度に加入していない人(村外医療機関の外来分は対象外)

● 転出や死亡などで資格を失ったときには、役場に返還していただくこととなります。

● 対象者でも、所得制限を超過している人には受給者証は交付されませんが、役場窓口で領収書を持参して申請することで、自己負担相当額が補助されます。

◆ 受給者証の交付がない人

区分	対象者
小学生	小学1年生から中学3年生までの児童・生徒
中学生	15歳に達する日以後最初の4月1日から18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある人
高校生など	18歳未満の児童を扶養する人およびその扶養を受ける18歳未満の児童
寡婦	初日から70歳に達する月の末日までの間にある人(村外医療機関の外来分は対象外)

● 領収書を添付し役場窓口で申請することで、自己負担相当額が補助されます。

※いずれの場合にも食事療養標準負担額、保険対象外の医療費に対して給付はありませんので、ご留意ください。

住所や氏名が変わったら届け出を

国民年金は20歳以上60歳未満の全ての人が加入する制度です。次のようなときは、届け出が必要です。



もし、届け出をしなかった場合、将来、年金額が少なくなったり、受けられなくなる場合がありますので、忘れずに届け出をしましょう。

◆ 届け出が必要なとき

- 20歳になったとき
 - 会社を退職したとき
 - ※ 扶養している配偶者がいるときは併せて届け出を
 - 配偶者の扶養から外れたとき
 - 住所・氏名が変わったとき
- 詳細は、住民生活課国保住民班または二戸年金事務所へ問い合わせください。

消防署たより

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42-3119

3月1日～5月31日まで山火事予防運動

《28年度山火事予防運動統一標語》
「誓います 森の安全 火の始末」

山火事は春先に集中しています。特に今の時期は、空気が乾燥し風の強い日が多く、山火事が発生しやすい気象条件となります。

火入れなどを行う際には特に注意し、たばこのポイ捨ては絶対にやめましょう。



村内の火災・救急（2月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
火災	0件	1件	+1件
救急	23件	51件	-2件

4月6日～15日は春の全国交通安全運動

◆ 実施期間

4月6日～15日までの10日間

◆ 運動重点

- 子どもと高齢者の事故防止
- ドライバーの人は子どもを見かけたときには、速度を落とし、安全な間隔を保って走行しましょう。
- 自転車の安全利用の推進
- 自転車も車の仲間です。交通ルールをきちんと守りましょう。
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ドライバーの人は、全ての人がシートベルトを着用しているか確認してから発進しましょう。
- 子どもには、体格に合ったチャイルドシートを正しく着用させましょう。

● 飲酒運転の根絶

飲酒運転は悪質な犯罪です。「飲酒運転をしない・させない」を合言葉

にドライバーの人はもちろん、周囲の人たちも協力して飲酒運転を根絶しましょう。



春の地域安全運動の実施

◆ 実施期間

4月6日～15日までの10日間

◆ 運動重点

- 特殊詐欺の被害防止
- 「還付金がある」「手続きはATMです」とだまして、お金を振り込ませる還付金詐欺がはやっていきます。
- ↓「ATMで返します」は詐欺
- 鍵掛けの励行
- 泥棒は、鍵や窓を壊すなどの手間を嫌がり、鍵を掛けていない家を探しています。油断せずに、玄関だけでなく窓や勝手口にも鍵を掛けましょう。

村内の交通事故（2月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
人身事故	0件	0件	-1件
物損事故	9件	19件	+1件
負傷者	0人	0人	-1人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転者	0人	0人	±0人

◎ 村の交通死亡事故ゼロ日数…… 508日
(2月29日現在)



福祉活動実施団体へ活動費の一部を助成

平成 29 年度予定している村内福祉団体に活動費の一部助成します。

■対象団体 地域福祉活動団体(福祉団体、町内会、福祉施設など)

■対象事業 地域での高齢者見守り活動、子育てサロン、地域福祉活動、社会福祉が目的の事業など

■募集締切 4月28日(木)

■助成の決定 審査・審議の上、助成を決定します。

■申し込み・問い合わせ 村総合福祉センター内・村共同募金委員会、村社会福祉協議会 (☎ 41-1200)

高齢者を支援 1人に3万円

賃金引上げの恩恵が及ぶにくい高齢者を支援します。

■支給対象者 平成 28 年度中に 65 歳以上となり、平成 27 年度の臨時福祉給付金の対象者(昭和 27 年 4 月 1 日以前に生まれた人)

■支給額 1人当たり3万円

■申込受付期間 4月20日(水)～6月30日(木) ※期間厳守

■申し込み 送付された申請書へ明記の上、下記へ申し込みください。

■問い合わせ 住民生活課地域福祉班 (☎ 42-2111 内線 203)

求人情報

■有限会社 竹村商事

①プロイラー出荷作業員(正社員) ②九戸村など③不問④138,000円⑤普通自動車免許一種、試用期間14日間

■株式会社 松本鶏園 九戸孵卵場

①孵化業務作業員(正社員以外) ②九戸村③59歳以下④129,600円⑤普通自動車免許一種、試用期間3カ月

■株式会社 南部ファーム

①農場豚飼育管理(正社員以外) ②九戸村③不問④152,320円～179,200円⑤普通自動車免許一種、雇用期間:採用日～12カ月

■岩手県北自動車 株式会社

①バス運転士(正社員) ②九戸村か一戸町③61歳以下④161,000円～170,400円⑤普通自動車免許一種(免許取得後3年以上経過)、試用期間6カ月

■株式会社 十文字チキンカン パニー 生産部 種鶏孵卵課

①種鶏飼育・採卵孵卵場作業員(正社員) ②九戸村など③59歳以下④147,200円⑤普通自動車免許一種

①職種②就業場所③年齢④基本給⑤資格など

◎3月15日現在の求人情報から掲載しています。求人に関するお問い合わせは、ハローワーク二戸(☎ 23-3341)まで。求人情報は役場口ビーでも配布しています。

休日当番医 (9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
4	3	二戸クリニック	25-5770
	10	すがわら消化器内科	23-2879
	17	金田一診療所	27-2205
	24	むらかみ医院いたみのクリニック	48-1500
	29	よこもり眼科クリニック	22-2230
5	1	千葉耳鼻咽喉科医院	23-2009

休日当番歯科医 (9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
4	3	国香歯科医院	23-2223
	10	菅原歯科クリニック	23-1180
	17	こしみず歯科クリニック	33-4618
	24	渡辺歯科医院	23-2052
	29	ムカイダ歯科クリニック	46-4636
5	1	森川歯科医院	23-6361

ごみ収集日 4月

収集区域	瀬月内/宇堂口/泥の木/平内/妻の神戸田上・下/館の下山根/荒谷/ニツ家	鹿島/伊保内上・下/川向/南田	小倉/長興寺上・下/大向/五枚橋/荒田/雪屋/田代/柿の木/江刺家上・下/道地丸木橋/山屋/細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
ビン・金物	4月4日(日)	4月5日(火)	4月11日(日)
空き缶	4月18日(日)	4月19日(火)	4月25日(日)
粗大ごみ	4月12日(火)		4月26日(火)
紙・プラ類	4月14日(木)	4月20日(水)	4月28日(木)

※ 指定日に、指定の袋で出しましょう。

◎住民生活課保健衛生班☎ 42-2111 内線 123

3月9日に配布した、平成 28 年度のごみ収集日程表(緑色)に誤りがありました。小倉、長興寺上・下、大向、五枚橋、荒田、雪屋、田代、柿の木、江刺家上・下、道地、丸木橋、山屋、細屋区域の粗大ごみは4月28日とあるのは、4月26日(火)の誤りでした。また、鹿島、伊保内上・下、川向、南田区域で、紙・プラスチック類が5月19日とあるのは5月18日(水)の誤りでした。お詫びして訂正します。



精神障害者へ バスの割引

精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人に対しバス運賃の割引を開始します。

■割引開始日

4月1日(金)

■対象者

精神障害者保健福祉手帳を持っている人(本人のみ) ※手帳に顔写真の添付がない場合は割引対象外

■実施バス会社

- ・県交通株式会社
- ・県北自動車株式会社
- ・ジェイアールバス東北株式会社(県内事業所)

■適用範囲

県内の一般路線バス
※県内と他県を結ぶ高速バス、特急久慈こはく号、106急行バスは対象外

■割引額

5割引

■申し込み・問い合わせ

県交通株式会社乗合自動車部業務課(☎019-654-2141)、県北自動車株式会社乗合事業部(☎019-641-1212)、ジェイアールバス東北株式会社盛岡支店(☎019-604-2211)

編集後記

◆3月初めにバスケットをしてて捻挫をしてしまいました。2週間は松葉づえを突いての取材。◆皆さまからは心配の声を多数いただきました。温かい声に背中を押され、取材をすることができありがとうございました。◆人事異動も発表なり、広報に留任。また、1年よろしくお願ひいたします。(下村)

地域で取り組む 介護予防を応援

介護予防に取り組む自治会などを、村と二戸地区広域行政事務組合が連携して応援します。

■支援対象活動

- 介護予防のための健康、生きがいづくり活動
- 介護予防のための知識や技術などを習得するための講座など
- 介護予防に関する地域住民の意識の啓発を図るための座談会など

■支援内容

補助対象経費の10分の8以内で上限を3万円とし、予算の範囲内で補助

■支援対象者

介護予防活動に取り組む町内会、自治会など

■助成期間

平成28年4月1日(金)から平成29年3月31日(金)まで

■申込期限

4月28日(木)まで

■その他

所定の申請書による手続きなどが必要となりますので、詳細は問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ

村住民生活課保健衛生班(☎42-2111内線123)、村社会福祉協議会(☎41-1200)

お詫びと訂正

広報くのへ3月号13ページ「友達の輪」の記事で、「秋にはマツナケ」とあるのは「秋にはマツタケ」の誤りでした。また、広報くのへお知らせ版2016.3.16号の村のこよみ欄で、伊保内小学校の入学式は4月7日、10時からとの誤りでした。お詫びして訂正します。

人のうごき

(平成28年3月1日現在)

●人口	6,129人	(-16)
男	2,953人	(-8)
女	3,176人	(-8)
●世帯数	2,156世帯	(-6)

(カッコ内は前月比)

転入	6人	(14人)
転出	13人	(22人)
出生	1人	(6人)
死亡	10人	(22人)

(カッコ内は1月からの累計)



中国で遊ばれている、羽根を蹴るゲームを楽しむ来場者



ロシアのウサギの皮で作られた帽子は「どう、似合ってる？」

ワン・ワールド・フェスタ初開催

笑顔花咲く
世界交流in九戸

ワン・ワールド・フェスタin九戸が3月5日、HOZホールで開かれました。複数の国が一つの会場に集まり国際交流できる企画で、九戸村でも県北地区でも初開催。会場に

は世界9カ国の出身者が集まり、参加者は現地の風習を直接体験していました。

ワークショップでは、海外派遣事業に参加した、県北地域の中・高校生35名がグループに分かれて、交流しながら議論を深めました。

派遣生は海外派遣の体験を生かして、地元の国際化や地域活性化のためにどうしたら良いかについて考えました。その後、他の学校の派遣生たちと討議し交流を深めながら、各グループでまとめた意見を堂々と発表しました。

外国紹介ブースでは、世界各国から集まった、アメリカ、イギリス、オーストラリア、韓国、タイ、中国、ペルー、モンゴル、ロシアの出身者と交流し、話に花を咲かせていました。参加者は、現地の文化や風習が分かる小物や写真を見て、交流しながら異国文化への理解を深めました。

中国と韓国の民族衣装を着て、現地の文化を楽しむ黒澤萌さん(伊保内小4年・写真左)と落安美嘉さん(同・右)



民族衣装試着体験コーナー

では、世界各国の民族が着ている衣装を試着体験。実際に現地の衣装を身にまとった来場者は、九戸村において、世界旅行を楽しんでいるようでした。

会場には試食コーナーも設置。世界のお菓子やジュース、中国の餃子も振る舞われ、現地の味を食しながら、各国の食文化を堪能していました。

参加者は、本村の一つの会場で世界各国の風土や文化を楽しむことができるということもあり、積極的にコミュニケーションを取り、異文化交流を満喫していました。(学校名と学年は開催当時のもの)

モンゴルの生活習慣を学びました



海外経験を生かし意見発表する九戸中の派遣生

